

山行報告書

報告書作成

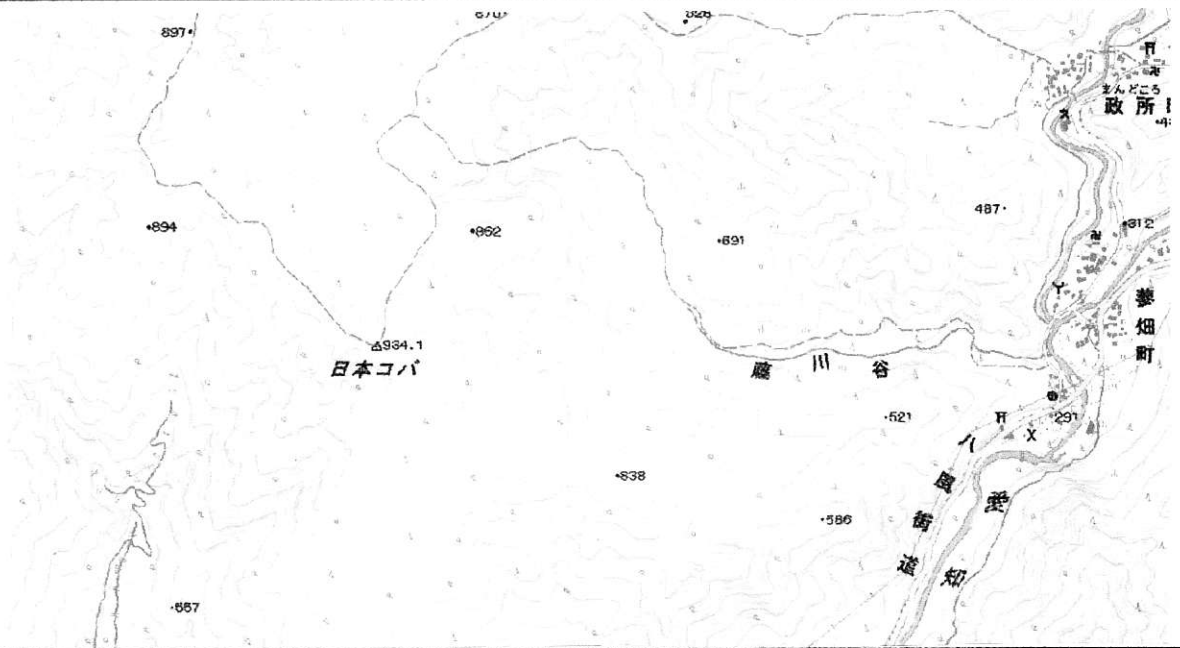
2007年9月3日

山名 [山域]	愛知川・藤川谷(鈴鹿山脈)	目的と方法	沢登りを楽しむ
登山期間	H19.9.1	山行形態	日帰り
参加人数	5人		

行動記録

kさん宅(600) == 豊明 == 湾岸桑名 == 藤川谷P(840)
 藤川谷P(900) -- 岩屋下(1340) -- 登山道合流点(1340 1400) -- 日本コバ(1420 1450) --
 登山道合流点(1500) -- 藤川谷P(1700)
 藤川谷P(1730) == 永楽の湯(1850 2030) == Kさん宅(2140)

概念図



日誌

念願の沢登り。
 ヒルがいると聞いていたが、見たこともないし、そんなに気にすることなくうきうき気分です初参加。
 天気が心配されたが、当日は好天気に恵まれた。

川谷の消防署で登山口を尋ね、その時に「ヒルがいるよ。」とわざわざ教えてくれる。いたとしても大したことないだろうと勝手に推測し、出発。

登山道を少し歩き、川へ入る。進んでいくうちにいくつか小さい滝がありそのうち10メートルの滝は登らずまいていく。ついでに休憩を取りそこでOさんヒルを見つける。ま、こんなもんかとたいして気にも留めなかった。所どころの石が安定しておらず、注意して進んでいく。数回休憩をとり岩屋下を通過。水の流れによって石灰岩がえぐられトンネルのようになっていた。沢登りでないと出会えないのかと感動した。登山道に合流し靴を履き替え、日本コバへ。休憩した後に、一気に下山。下山した道は、人が入ってないせいか、状態があまりよくなく、さらにヒル恐怖に襲われていたので、駐車場に着いたときはほっとした。ある意味、疲れた。沢自体はとても楽しくすばらしかったが、ヒルは遠慮したい。